

令和6年7月30日

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
大田原市立小学校 17校	大田原市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
大田原小学校	https://ohtawara-city-ohtawara-elementary-school.edumap.jp
西原小学校	https://ohtawara-city-nishihara-elementary-school.edumap.jp
紫塚小学校	https://ohtawara-city-murasakizuka-elementary-school.edumap.jp
親園小学校	https://ohtawara-city-chikasono-elementary-school.edumap.jp
宇田川小学校	https://ohtawara-city-udakawa-elementary-school.edumap.jp
市野沢小学校	https://ohtawara-city-ichinosawa-elementary-school.edumap.jp
奥沢小学校	https://ohtawara-city-okusawa-elementary-school.edumap.jp
金丸小学校	https://ohtawara-city-kanemaru-elementary-school.edumap.jp
羽田小学校	https://ohtawara-city-handa-elementary-school.edumap.jp
薄葉小学校	https://ohtawara-city-usuba-elementary-school.edumap.jp
石上小学校	https://ohtawara-city-ishigami-elementary-school.edumap.jp
佐久山小学校	https://ohtawara-city-sakuyama-elementary-school.edumap.jp
湯津上小学校	https://ohtawara-city-yudukami-elementary-school.edumap.jp
川西小学校	https://ohtawara-city-kawanishi-elementary-school.edumap.jp
黒羽小学校	https://ohtawara-city-kurobane-elementary-school.edumap.jp
須賀川小学校	https://ohtawara-city-sukagawa-elementary-school.edumap.jp
両郷中央小学校	https://ohtawara-city-ryougoutyuuou-elementary-school.edumap.jp

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果及び学校関係者評価結果の公表 URL
大田原小学校	集計結果を学校だより等で公開
西原小学校	集計結果を学校だより等で公開
紫塚小学校	集計結果を学校だより等で公開
親園小学校	集計結果を学校だより等で公開
宇田川小学校	集計結果を学校だより等で公開
市野沢小学校	集計結果を学校だより等で公開

奥沢小学校	集計結果を学校だより等で公開
金丸小学校	集計結果を学校だより等で公開
羽田小学校	集計結果を学校だより等で公開
薄葉小学校	集計結果を学校だより等で公開
石上小学校	集計結果を学校だより等で公開
佐久山小学校	集計結果を学校だより等で公開
湯津上小学校	集計結果を学校だより等で公開
川西小学校	集計結果を学校だより等で公開
黒羽小学校	集計結果を学校だより等で公開
須賀川小学校	集計結果を学校だより等で公開
両郷中央小学校	集計結果を学校だより等で公開

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
 一部、計画通り実施できていない
 ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
 実施していない

<特記事項>

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本市では、「英語教育ビジョン」を掲げ、「英語を学ぶことで自分の可能性を広げ、グローバルな視点に立って主体的に世界とつながる子ども」を9年間で目指す子供像とし、CAN-DO リスト形式の学年ごとの学習到達目標を掲げている。これに基づき各学校において英語教育の推進を図っている。

また、平成30年度より、市内全中学校区（8中学校区）で、小中一貫教育を実施している。本市の小中一貫教育においては英語教育を「重点項目」としており、中学校教員の乗り入れ授業、小中合同での英語活動、外国語活動、外国語科の授業研究会等を行い、小中で連携しながら、英語教育を実施している。

このような状況もあり、小学校1年生から中学校3年生までの系統性のある英語教育が行われている。

（2）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本市の「英語教育ビジョン」には、「中学校卒業時に英語検定3級以上の英語力を有する子供」についても、9年間の目指す子供像として明記している。

国においても英語検定3級程度の能力をもつ生徒を50%以上とすることを目標に掲げているが、本市においても、英語検定3級の受験料負担を行い、英語検定の3級の取得率を向上に努めている。現在、着実に英語検定3級の取得率は向上している。本年度については、取得率50%以上を目標として掲げている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・全ての児童が英語活動・外国語活動・外国語科の授業に積極的に参加し満足できるような指導内容や指導方法の在り方について継続して研究するとともに、教職員の資質向上を目指した研修をより充実させる必要がある。
- ・小学校低学年から英語教育を導入することへの中学校段階への影響や効果等については今後も更に継続して検証していきたい。
- ・担任と市会計年度任用職員（英語活動指導員）によるチーム・ティーチングによる指導体制については、学校側からの強い要望があり、体制を維持している。今後もより効果的な指導体制の在り方について検証していきたい。